

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」長野駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		お子様に合わせて支援スペースを都度調節しています。	お子様の状況・ニーズに合わせてスペースを工夫していくようにする。
	②	職員の配置数は適切である	○		1対1の個別療育を行うことで、より丁寧な療育支援が行えている。	お子様への支援向上と安心安全の確保に向け、児童指導員1名を増やす方向。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		入室から着席までの動線の工夫とやるべきことが、定位置であることで安心して取組みに向かっている。	特性に合わせた支援が行えるよう、他児と離れた場所に活動スペースが作れるよう机とパーテーションを手配中。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎朝の清掃に加えて、新型コロナウイルス感染予防対策で次亜塩素酸水を使用して都度消毒を実施している。	安全な環境を提供できるよう、エアコンは外気の換気ができる機能のついたものを使用できるとよりよい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定例の月初ミーティングで改善テーマについての話し合いや朝ミーティングを実施。	職員それぞれの困り感や、要求を汲み取っていきけるよう、気軽に話をもつ機会をもっていきたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様からの聞き取りを元に、職員間で話し合う機会を持ち、改善を行ってきました。	今後も、保護者様の声を受け止め、その意向に合わせて、業務改善に努めていきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者様の事業所評価を行い、それを元に事業所内でミーティングを行い、HPにて公開している。	当社HPにて公開していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は、利用者様・社内の2者評価を行っている。	第三者における外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内外の研修に参加し支援の質の向上に努めている。	外部研修で受けた情報等を事業所内で共有し事業所全体でスキルアップにつなげていく。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間ごとに、アセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。	アセスメントを行っていく上で、事業所外（地域・学校）での姿も捉えて参考にしていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		きらりの標準化されたアセスメントシートを使用している。	

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメント・モニタリングから見えてくるお子様の姿とニーズに必要な支援項目を選択し、項目が重複することないように心掛けている。	「支援目標」にガイドラインに沿って、支援項目を書き出していくことで支援項目が重複していないか確認を行っていきたい。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画書に沿って支援を行っている。	今後も個別支援計画に沿って支援を行っていく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		その都度、チームで考え合って立案している	立案の発信元を広げていきたい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様の成長発達・興味に合わせて工夫している。	事業所内でお子様の情報を共有することで、成長度合い・興味をキャッチしていき、プログラムを工夫していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		普段の個別療育で成長した事を小集団療育の中で活かせるように取組んでいる。	小集団療育の中で体を使った活動や社会性の向上等を願って、適宜取り入れていきたい。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を毎日実施し、職員間で情報共有を実施。	特に、小集団活動の時の役割分担とその確認を丁寧に行っていくようにする。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		夕礼を行い、その日の情報をその日の内に共有できるようにしてきた。	その日の内に、情報を共有することで、迅速な対応が必要な事項について速やかに対処していく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		所定の日誌に毎回記載。	個別支援計画の具体的な目標に対する表記を中心にやっていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		最長でも6カ月に1回のモニタリングを実施	モニタリング時のみならず、必要に応じて見直しを行っていく。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		積極的に参加している。	これまでのように、担当者会議前には、支援担当者全員と情報共有を行い参加するようにする。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健師・子育て支援課・保育園等と連携実施。	今後も関係他機関との連携を行い、チーム支援を心がけていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—		該当なし	該当なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—		該当なし	該当なし

	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		利用者の保育園と情報共有実施。	必要に応じて、利用者の保育園・幼稚園と連携を行っていききたい。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行にあたり、きらりでの支援内容等を提供している。	必要に応じて、支援内容等を提供していききたい。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		圏域療育コーディネーター等々よりアドバイスをいただいている。	今後も、必要に応じて専門機関との連携を行っていききたい。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	ニーズもなく、現時点での交流計画はない。	必要に応じて、対応していききたい。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		積極的に参加し、情報を共有している、	共有した情報を事業所内でも共有していく。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者様には、わかりやすく伝えるよう心掛けることと、合意を得て取組んでいくことで、共通理解を持っている。	今後も、丁寧な伝えとわかりやすい表現の工夫を行い、親しみを持って療育に対する理解を得ていききたい。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		保護者様のニーズに合わせた項目をFB時や面談時に個別に実施。	ニーズが出れば、保護者会の中で行って行くの事も検討していききたい。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に詳しく説明を行い、質問が出ればその都度対応。	今後も、わかりやすいように丁寧に伝えていく。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		作成ごとに、支援のねらいについての説明を丁寧に行い、その内容に同意を得て支援に取り組んでいる。	普段の伝えの中にも、どの活動が、どの支援目標の“ねらい”であるか、適宜対応していきけるように努めたい。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からの依頼時、お子様の様子に合わせた面談を実施。	まずは、傾聴に心がけ対応していきけるよう、職員の対応の資質向上を目指す。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ感染予防等の関係で延期中。	ZOOMを使用した、リモート保護者会を検討中。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談等に関しては、事業所内ですぐに情報を共有する体制ができており、迅速に対応してきた。	今後も、迅速な対応が取れるよう、職員間の連携・体制を確立していく。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		きらりの事業所用ラインを用いて、避難訓練実施の案内等を行ってきた。	ラインからの発信は、保護者様の受け入れもよく、活用しながら情報を発信していききたい。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫にて保管している。	個人情報の取り扱いを慎重に行い、社内研修も行っていく。

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		その特性に合わせて伝わりやすい方法を用いて伝達するようにしている。	それぞれに合わせた対応を丁寧に行っていくようにする。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今年度は、新型コロナ感染予防からも交流は行っていない。	新型コロナ感染の心配がなくなったら、検討していきたい。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し、周知と訓練の実施をしてきた。	今後も、年間計画に沿って訓練を行っていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画に沿って、訓練を実施してきた。	今後も年間計画に沿って実施していく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		初回面談で確認実施。6か月ごとのモニタリング時に都度確認実施。	今後も、機械あるごとに確認を行うようにしていく。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		該当児童なし	該当児童なし
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリとした場面は職員全体で情報を共有している。	記録を残すと共に、同じことが起こらないよう対応していく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		令和2年12月24日事業所内虐待研修実施済	今後も、機会あるごとに実施し、確認を行っていく。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現時点で該当者はないが、個別支援計画書には必要に応じた対応について記載済。	今後も、個別支援計画書への記載を行い、とっさの時の対応について承認を得ておくようにする。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

業所名：こどもサポート教室「きらり」長野駅前校 保護者等数（児童数）：4（5）回収数：4 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					
	⑨	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				4		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4					

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			3	1	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	1			
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2				
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3	1			
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。